

1 策定の背景

平成27年2月に「宮城県特別支援教育将来構想」を策定し、特別支援学校のセンター的機能の充実による就学前からの切れ目ない支援、居住地校学習などにより、特別支援教育への理解は進んでいるが、特別な支援を必要とする児童生徒の増加のほか、インクルーシブ教育システムの構築に係る多様な学びの場の整備や県立特別支援学校の狭隘化の解消が引き続き求められていることから、これまでの取組や新たな課題を踏まえ、本県における特別支援教育の方向性を示すもの。

2 基本的な考え方

障害の有無によらず、全ての児童生徒の心豊かな生活と共生社会の実現を目指し、柔軟で連続性のある多様な学びの場の中で、一人一人の様々な教育的ニーズに応じた適切な教育を展開する。

3 計画の期間

令和7年度から令和16年度まで(10年間)

4 今後の特別支援教育の進め方・目標

特別な配慮や支援を必要とする児童生徒が、主体的に社会参加できるよう自ら考え、判断できる力を身に付けるとともに、心豊かな生活を送ることができる共生社会の実現に向けた関係者の理解促進を図るため、次の3つを目標に掲げ、施策を推進する。

目標1 自立と社会参加

児童生徒が夢や希望を抱きながら、心豊かな生活を実現するための一貫した指導・支援体制の整備

目標2 誰一人取り残さない学校づくり

児童生徒の多様な教育的ニーズに的確に対応した体制・環境の整備

目標3 誰もが認め合う地域づくり

生活の基盤となる地域社会への参加を促進するための環境整備と共生社会の実現に向けた関係者の理解促進

5 主な経過と今後の予定

令和5年11月 特別支援教育将来構想審議会【諮問】

令和6年 3月 特別支援教育将来構想審議会【骨子案検討】

令和6年 8月 特別支援教育将来構想審議会【中間案検討】

令和6年 9月 中間案パブリックコメントの実施

令和6年11月 特別支援教育将来構想審議会【最終案検討】

令和7年 1月

～2月 答申・策定

第2期宮城県特別支援教育将来構想中間案の概要

I 特別支援教育将来構想の策定について

1 策定の背景

- 本県における特別支援教育の方向性を示すものとして、平成17年7月に「宮城県障害児教育将来構想」、平成27年2月に「宮城県特別支援教育将来構想」を策定し、各種施策を展開
- この10年間で特別支援学校におけるセンター的機能の充実による就学前からの切れ目ない支援、居住地校学習などにより特別支援教育への理解は進んでいる。
- 一方で、特別な支援を必要とする児童生徒の増加、インクルーシブ教育システムの構築に係る多様な学びの場の整備や特別支援学校の狭隘化の解消等が引き続き求められている。

第2期
将来構想
の策定

2 計画の位置づけ・計画期間等

- これまでの取組や新たな課題を踏まえ、本県における特別支援教育の方向性を示すもの。
- 計画期間
令和7年度から令和16年度まで（10年間）
- 実施計画
5年ごとの実施計画を策定し各種施策を実施

3 特別支援教育を取り巻く状況等

（1）本県の特別支援教育を取り巻く状況

- ①小・中学校特別支援学級児童生徒数（74.3%増）
H25：2,675人⇒R5：4,663人
- ②小・中学校で通級による指導を受けている児童生徒数（114.9%増）
H25：2,127人⇒R5：4,571人
- ③特別支援学校の児童生徒数の推移
・県内（9.5%増） H25：2,474人⇒R5：2,709人
・仙台圏域の知的障害児童生徒数見通し
R5：1,591人⇒R14：2,036人（県立以外含む、ピーク時）
- ④特別支援学校高等部・専攻科卒業生の進路状況（R5年度卒業生）
福祉的就労：55.2%、一般就労：35.3%
進学：3.5%（専門学校・大学等）

（2）各学校等の状況

- ①小・中学校特別支援学級数（24.3%増）
H25：1,146学級⇒R5：1,424学級
- ②中学校特別支援学級生徒の高等学校等への進学状況
R5年度卒業生の高等学校等への進学者数107人（H25年度の2.4倍）
- ③県立知的障害特別支援学校学級数
小学部 H25：144学級⇒R5：194学級
中学部 H25：100学級⇒R5：106学級
高等部 H25：176学級⇒R5：180学級
- ④個別的教育支援計画の小学校から中学校への引継ぎ
特別支援学級：99.7%、通級による指導：94.8%
通常学級：92.7%

II 現構想における取組の成果と課題

目標1 自立と社会参加

- 成果
・「個別的教育支援計画～つなぐための作り方と使い方～」作成等による乳幼児期からの切れ目ない支援体制の充実
・特別支援学校における移行支援会議による就業後の生活への円滑な移行
・特別支援学校文化祭開催による特別支援学校の取組への県民の認知向上 等
- 課題
・一貫した支援のための、保健、福祉等部門や幼稚園等と家庭との連携体制強化
・社会の変化に対応したキャリア教育、多様化する進路に対応した進路学習の検討 等

目標2 学校づくり

- 成果
・共に学ぶための授業づくり・校内支援体制の構築、教職員の理解促進
・居住地校学習受入校等の増加による小・中学校におけるインクルーシブ教育の理解促進

進等

- 課題
・校長等のリーダーシップによる特別支援教育における校内推進体制の充実
・医療的ケア児の増加及び高度化・複雑化する医療的ケアへの対応
・特別支援学校の狭隘化への更なる対策 等

目標3 地域づくり

- 成果
・特別支援学校へのコミュニティ・スクール設置
・市町村教育委員会への「教育支援の手引き」による就学事務への支援 等
- 課題
・インクルーシブ教育の推進に向けた居住地校学習の充実
・市町村教育委員会及び教育事務所における研修等、専門性維持向上への支援 等

第2期宮城県特別支援教育将来構想中間案の概要

Ⅲ 将来構想の基本的な考え方

障害の有無によらず、全ての児童生徒の心豊かな生活と共生社会の実現を目指し、柔軟で連続性のある多様な学びの場の中で、一人一人の様々な教育的ニーズに応じた適切な教育を展開する。

Ⅳ 今後の特別支援教育の進め方

特別な配慮や支援を必要とする全ての児童生徒が、主体的に社会参加できるよう自ら考え、判断できる力を身に付けるとともに、心豊かな生活を送ることができる共生社会の実現に向けた関係者の理解促進

目標1 自立と社会参加

1 関係機関の連携強化による切れ目ない支援の充実

(1)乳幼児期の連携

- 地域で切れ目なく支援を受けられるための教育、福祉、医療機関等との連携強化 等

(2)就学前（幼稚園・保育所等）の連携

- 教職員、特別支援教育支援員への研修機会の充実 等

(3)就学中の連携

- 個別の教育支援計画を活用した関係機関との連携による支援 等

(4)卒業後の連携

- 卒業後の個別の教育支援計画等の活用による必要な配慮の関係機関への引継ぎ 等

2 卒業後の心豊かな生活への円滑な移行を支援する体制の充実

(1)生涯学習の推進のための取組の充実

- 在学中からの生涯学習を行うための素地を培う機会の充実 等

(2)卒業後の充実した余暇活動のための支援

- 社会教育や学習機会に関する講座・イベントなどの情報発信 等

目標2 誰一人取り残さない学校づくり

1 多様な教育的ニーズに応じた学びの場の実現

(1)特別支援学校における教育環境の整備

- 県立知的障害特別支援学校の狭隘化の解消 等

(2)学びの場を主体的に選択できる進路支援の充実

- 高等学園等の合同説明会実施、情報発信 等

(3)ICT利活用等による特別支援教育の質の向上

- 障害の特性等に応じたきめ細かな指導 等

(4)小・中学校等における特別な支援を必要とする子供の学びの充実

- 通常学級に在籍する特別な支援を必要とする児童生徒への合理的配慮の提供、担任と特別支援教育コーディネーターの連携による支援 等

(5)高等学校等における特別支援教育の充実

- インクルーシブ教育の充実への検討 等

(6)安全・安心な医療的ケア等の実施体制の整備

- 学校看護職員への専門的研修による知識・技能の向上 等

2 学習の質を高めるための教員の専門性向上

(1)全ての教員の特別支援教育に関する基礎的な知識、合理的配慮等に関する理解の促進

- 専門性の高い人材の育成・確保

(2)特別支援教育を担う教員の専門性の向上と蓄積

- 研修機会等の充実、校内支援体制整備による専門性の向上 等

目標2 誰一人取り残さない学校づくり

(3)職能や教職経験年数に応じた特別支援教育に関する教員の資質能力向上

- 管理職を対象とした研修機会・内容の充実 等

(4)専門性向上を支える校内組織の整備

- 校長のリーダーシップによる校内研修体制の整備 等

目標3 誰もが認め合う地域づくり

1 共生社会の実現を目指した理解促進

(1)インクルーシブ教育の更なる推進

- 地域社会への参加を見据えた、交流及び共同学習の更なる推進 等

(2)インクルーシブ教育の推進に向けた理解啓発

- 特別支援学校のコミュニティ・スクール設置 等

(3)特別支援学校が地域において果たす役割の強化

- 地域に開かれた施設運営・地域密着の学校行事運営 等

2 市町村教育委員会へのサポート

(1)研修等事業の充実

- 市町村教育委員会が行う研修事業等への支援 等

(2)就学における相談支援の充実

- 就学支援の手引きの活用促進・内容の充実 等

(3)医療的ケア等の実施に関する支援

- 研修会等を通じた必要な情報の提供や個別相談への対応 等